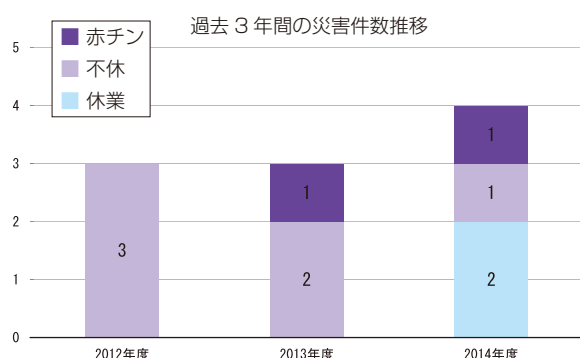


社会的取組みの状況

労働安全衛生の取組み

本年度は、『安全改革定着化』の活動に取り組みリスク削減を図りゼロ災を目指しましたが、工場部門において2件の休業災害が発生しました。このため、今までの活動を振り返りリスク対策を実施した項目について見直し、その対策が持続できる歯止めを行いました。2015年度についても取り組みます。一方、建設部門については、会社発足以来初めてとなる完全無災害を達成しました。現場監督の弊社従業員と工事を請け負う協力会社の方々が一緒となって安全活動に取り組んだ成果であると考えます。2015年度は、工場部門も奮起し完全無災害に再挑戦いたします。

健康管理については、個人と組織の健康度向上による職場の活性化を図ります。従業員にストレスチェックを実施し個人のフォローを行うとともに、職場診断につなげ総合健康リスクの低減を目指します。また、健康な体を目指し禁煙活動にも取り組みます。



新潟原動機グループ 安全成績			
年度	2012	2013	2014
休業災害	0	0	2
不休災害	3	2	1
赤チン災害	0	1	1
合計	3	3	4

安全衛生方針

労働安全衛生は、会社経営において最も重要、かつ基本的事項の一つであり、従業員の安全と健康を守ることが、人間尊重の理念に立脚した会社の社会的責務である。

この基本的考え方に基づき、職場における日常の安全衛生管理体制を一層強化し、特に管理監督者は常に危険に対する感受性を磨き、的確な安全指示をすることが必要である。

また、合わせて心身両面に亘る健康の保持増進のため、従業員一人ひとりが意識を高め、職場の安全は自ら守り、相互に指摘し合える風土を作ること、全員参加のもと災害・疾病のない快適な職場環境作りを推進する。

1. 職場の潜在的な危険、有害要因を根本的に取除き、真のゼロ災害を目指すため、従業員、協力会社従業員全員参加のもと継続的な安全衛生活動に取り組みます。
2. 労働安全衛生法をはじめ関係する法令を遵守するとともに、会社及び事業所で定めた安全衛生規程類に基づき従業員の安全衛生を確保します。
3. 従業員の疲労軽減及び心の健康の保持増進を図ります。
4. 安全衛生委員会等の安全衛生パトロール、ヒヤリハット、気がかり提案、災害事例からきめ細かく分析した結果等に基づき達成目標を定め、この目標を達成するための方法や実施時期も合わせて、事業所の安全衛生計画を策定します。
5. 労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）の活動を推進し、リスクアセスメントによる「危険ゼロ」の職場を作ります。